

■成果指標の算出方法

番号	指標名	指標の出典	算出方法
【目標1】新たなライフスタイルに対応し、多様なまちの魅力を生かした、豊かな住宅地の形成			
1	「住宅及び住環境に対して満足」と思う市民の割合	住生活総合調査	住宅及び住環境に対して、「満足」「まあ満足」と回答した市民の割合
2	「市内での定住意向」のある市民の割合	市民意識調査	今の住まいに「住み続ける」「たぶん住み続ける」と答えた市民の割合+「移転する」「たぶん移転する」と答えた市民のうち、移転先が「同じ区内」「横浜市内」である割合
3	「街並みや景観の形成・保全に対して満足」している市民の割合 【住み】	市民意識調査	満足している公共サービスとして、「まちなみや景観の形成・保全」を挙げた市民の割合
4	横浜に住み続ける理由として「買い物、医療などの生活環境が整っているから」の割合 【住み】	市民意識調査	「市内での定住意向」がある市民のうち、横浜に住み続ける理由として「買い物、医療などの生活環境が整っているから」を選択した割合
5	横浜に住み続ける理由として「通勤・通学に便利だから」の割合 (調整中) 【働き】	市民意識調査	「市内での定住意向」がある市民のうち、横浜に住み続ける理由として「通勤・通学に便利だから」を選択した割合
6	横浜に住み続ける理由として「余暇や休日を楽しく過ごせる場所だから」の割合 【楽しみ】	市民意識調査	「市内での定住意向」がある市民のうち、横浜に住み続ける理由として「余暇や休日を楽しく過ごせる場所だから」を選択した割合
7	「近隣の人たちやコミュニティとの関わりに満足」と思う市民の割合 【交流】	住生活総合調査(特別集計)	近隣の人たちやコミュニティとの係わりについて、「満足」「まあ満足」と回答した市民の割合
【目標2】災害に強く、安全な住まい・住宅地の形成と被災者の住まいの確保			
1	耐震性が確保された住宅数の割合(耐震化率)	横浜市耐震改修促進計画	(昭和56年5月31日以前の耐震性有住宅+昭和56年6月1日以降住宅) / 住宅総数 × 100 (%)
2	条例による防火規制に伴う耐火性の高い建築物の建築件数	次期「地震火災対策方針」(地震防災戦略)	次期「地震火災対策方針」にもとづく耐火性の高い建築物の建築件数(調整中)
3	よこはま防災力向上マンション認定制度の認定件数(累計)	建築局調べ	初年度(2022年)20件、2023~31は年10件として算出

番号	指標名	指標の出典	算出方法
【目標3】多様な世帯が健康で安心して暮らせる住まい・コミュニティの形成			
1	横浜市の施策で行う公的住宅等における子育て世帯に配慮された住宅供給戸数（累計）	建築局調べ	①子育てりびいん戸数+②地域子育て応援マンション本認定戸数+③子育て世帯限定募集市営住宅戸数+④子育て世帯向け住宅確保要配慮者専用賃貸住宅戸数+⑤よこはま多世代・地域交流型住宅戸数(高齢者向け住宅除く)
2	高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合	建築局調べ	高齢者向け住宅※の定員数・戸数/高齢者（65歳以上）人口×100（%） ※高齢者向け住宅 ①有料老人ホーム、②軽費老人ホーム、③ケアハウス、④シルバーハウジング、⑤シニア・りびいん、⑥サービス付き高齢者向け住宅、⑦高齢者向け優良賃貸住宅、⑧高齢者向け住宅確保要配慮者専用賃貸住宅
3	子育て世帯の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有する住宅の割合	住宅・土地統計調査（特別集計）	子育て世帯の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー化及び断熱化がなされた住戸数/子育て世帯が居住する住宅の総戸数×100（%） ※子育て世帯：18歳未満の世帯員のいる世帯 ※一定のバリアフリー化：2箇所以上の手すりの設置又は屋内の段差解消 ※一定の断熱化：全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラスを使用しているもの
4	高齢者の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有する住宅の割合	住宅・土地統計調査（特別集計）	高齢者世帯の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー化及び断熱化がなされた住戸数/高齢者世帯が居住する住宅の総戸数×100（%） ※高齢者世帯：65歳以上の世帯員のいる世帯 ※一定のバリアフリー化：2箇所以上の手すりの設置又は屋内の段差解消 ※一定の断熱化：全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラスを使用しているもの 【参考】全国値 17%（H30/2018）⇒25%（R12/2030）
【目標4】住宅・福祉施策が一体となった重層的な住宅セーフティネットの充実			
1	家賃補助付きセーフティネット住宅の供給戸数（累計）	建築局調べ	家賃補助付きセーフティネット住宅の交付決定戸数
2	住まいに関する相談窓口	建築局調べ	身近な相談・情報提供拠点整備における相談連携窓口数 （①公社（住まいまちづくりセンター・居住支援協議会） ②ハウスクエア横浜 ③東急 ④神奈川県建築士事務所協会 ⑤横浜市建築士事務所協会 ⑥⑦相鉄 ⑧～⑭ナイス ⑮高齢者施設・住まいの相談センター）

番号	指標名	指標の出典	算出方法
【目標5】脱炭素社会の実現に向けた良質な住宅ストックの形成			
1	家庭部門におけるエネルギー消費量の削減率（2013年度比）	横浜市温暖化対策実行計画	「2050年温室効果ガス実質排出ゼロ」の長期的目標からバックキャストした「2030年度50%削減（2013年度比）」に向け設定した部門別削減目安のうち、「家庭部門」の削減目標
2	ZEHの断熱性能を上回る、より高い省エネ性能の住宅を供給する市内事業者数（累計）	建築局調べ	（仮称）よこはま健康・省エネ住宅事業者登録数のうち、市内事業者数 ※2023年度に登録制度創設
3	長期優良住宅として認定された戸数（累計）	建築局調べ	長期優良住宅建築等計画の認定を受けた住宅戸数
4	既存住宅の流通割合（調整中）	住調・着工統計	持ち家として取得した中古住宅戸数 / （持ち家として取得した中古住宅戸数 + 新設住宅着工戸数） × 100（%）
5	住まいに関する相談窓口【4-2再掲】	建築局調べ	身近な相談・情報提供拠点整備における相談連携窓口数 （①公社（住まいまちづくりセンター・居住支援協議会） ②ハウスクエア横浜 ③東急 ④神奈川県建築士事務所協会 ⑤横浜市建築士事務所協会 ⑥⑦相鉄 ⑧～⑭ナイス ⑮高齢者施設・住まいの相談センター）
【目標6】マンションの管理適正化・再生円滑化の推進			
1	マンション実態把握調査の回答率	建築局調べ	令和元・2年度に調査対象とした市内の高経年マンション（昭和58年以前に建築された6戸以上の分譲マンション）の管理組合数1,453組合のうち、回答のあった管理組合数の割合
2	働きかけにより管理の改善に至った管理組合数（累計）	建築局調べ	「管理組合活動活性化支援」を活用して改善に至った管理組合数
3	管理計画認定制度の認定件数（累計）	建築局調べ	管理計画認定制度の認定件数
【目標7】総合的な空家等対策の推進			
1	一戸建て空家のうち、別荘、賃貸・売却等以外の住宅（その他の住宅）の戸数	住宅・土地統計調査	全国計画（R3.3）では空家の増加率を12%（10年間換算）と見込んでいるが、本市では10%としてR13年度末の戸数を算定
2	市の支援を受けて実現した、一戸建て空家等の活用件数	建築局調べ	局・区の支援制度により実現した一戸建て空家等活用の件数 （①空家活用：建築局、②まち普請、防災広場：都市整備局、③地域緑のまちづくり：環境創造局、③福祉拠点整備：健康福祉局、④活動拠点整備：こども青少年局、⑤空家活用、地域の居場所づくり等：各区役所等）
3	市の支援・指導を受けて除却した、一戸建て空家の戸数（調整中）	建築局調べ	局・区の支援制度や指導により除却した建築物のうち、一戸建て空家の戸数（調整中）